

学校とその周辺で活動する地域団体一覧 (五十音順)

名称	活動内容	対象	主な活動場所
アップルパイ	体操(マット運動、跳び箱など)	幼稚園～小学生	牟礼CC体育館
井の頭フェニックス	少年軟式野球	小学生	五小校庭など
親子deファイトエクササイズ	格闘技エクササイズ	小学生から大人まで	高山小体育館
親子バド	バドミントン	小学生から大人まで	高山小体育館
カントルムみたか	合唱	幼児から中学生まで	井の頭CCなど
KBS	バスケットボール	小学生から大人まで	牟礼CC体育館
鼓響(こひびき)	和太鼓	幼児から大人まで	井の頭CC、明星学園高等部
常喜会(じょうきかい)	剣道	小学生から大人まで	牟礼CC体育館
ソニックス三鷹	ミニバスケットボール	小学生	五小体育館
高山SC	サッカー	小学生	高山小校庭
高山剣道	剣道	小学生から大人まで	高山小体育館
高山ファイターズ	少年軟式野球	小学生	高山小校庭など
チーム三鷹の森	ソフトバレーボール	学園の小学5・6年生	高山小体育館(29年度)
三鷹五小サッカークラブ	サッカー	小学生	五小校庭
三鷹ジャガーズ	少年軟式野球	小学生	五小・高山小校庭など
みたかジュニア新体操	新体操	幼稚園～中学生	牟礼CC体育館

高山ふれあい広場(主として高山小児童を対象とし、高山小で活動)…囲碁教室、おはなしかい(絵本の読み聞かせや工作など)、さくらクラブ(お琴)、書道クラブ、新体操クラブ、バドミントン、ハニー・キッズ(ヒップホップダンス)、ケイキフラホアピリ(フラダンス)、放課後あそび(放課後の校庭開放)、高山マスターズ(ミニバスケットボール)

※活動時間等の詳細は各団体に直接お問い合わせいただくか、CS広報部mitakanomori.pr@gmail.comにお尋ねいただければ取り次ぎます。

子ども同士、子どもと地域をつなぐ「CS委員会 地域・サポート部」の活動

平成29年度



●学級文庫選書手伝い

子どもたちの読書環境として、学級文庫の選書と、時々のお入替が大切です。各学期に1回、小学校の学級文庫用の本を三鷹図書館(本館)の団体貸し出しで借りています。学校司書さん作成のリストを見ながら、ボランティアの保護者の皆さんが本を抜き出し、主事さんが車で学校まで運んでくれます。



●ソフトバレーボール「チーム三鷹の森」

スポーツを通して2校の小学生がチームワークを高め、交流を深めます。毎年2月の三鷹市「小学生ソフトバレーボール交流大会」をめざし、5・6年生有志が混合チームを結成。6月から毎週練習をしています。三中バレー部やOBの中学生が指導に来てくれる、まさにCSならではの、学園ならではの活動です。



●花いっぱい運動

子どもたちが花と緑で地域に貢献する活動です。「花と緑のまち三鷹創造協会」提供の花苗を、学園3校で同時期に植えています。学校のまわりにも植えるため、小学校では大人の見守りが必要ですが、子どもたちはいつも植え付けを楽しんでいます。季節ごとに年4回実施しました。



●MISHOP出店

三中美術・漫画創作研究部の生徒たちのセンスや技能を生かした地域貢献活動です。毎秋、三鷹国際交流フェスティバル(MISHOP)で、フェイスペインティングのブースを三鷹の森学園が担当しています。当日は部員たち、卒業生、ボランティアの保護者たちがペインターとして参加し、お祭りを一緒に盛り上げます。



●漢検・英検

小学校では漢検、中学校では漢検と英検(来年度からは数検も)の団体受検をCSが窓口となって行っています。自分の学校で申し込むことができ、受検もできる(英検は1次試験のみ)のがメリット。級を持っていると高校受験の時にも役立ちます。年3回実施しています。



●英語交流活動(クリスマスパーティ)

今年度3回目を迎えるこのイベントは、「英語に親しむ」という趣旨で、ネイティブや英語に堪能な保護者の協力のもと、英語のゲームやお菓子づくりなどを楽しんでいます。今年は法政高校英語研究部の皆さんがビンゴゲームしてくれたほか、ハンドベルやバンドの演奏もあり、盛りだくさんな内容でした。

問い合わせ先:三鷹の森学園CS広報部
mitakanomori.pr@gmail.com

学園のホームページはこちら



三鷹の森学園CS委員会だより

あすのつばさ 31号

平成30年3月
学園長:柳瀬 泰
会長:吉野 恵蔵
発行:三鷹の森学園
コミュニティ・スクール委員会

ちょっと出かけたときに、知っている人を見かけて
気軽にあいさつをする。

朝の通勤時に、すれ違う見知らぬ子どもたちにおはようと声をかける。

共通の趣味をもった地域の人と出会う。

ちょっと困ったときに心安く相談できるご近所さんがいる。

地域の催しが楽しみになる。

そんな風通しよく、居心地のいい三鷹の森が広がっていく。

コミュニティ・スクール委員会は、学園を通じて、
その根を、幹を、葉を育てるお手伝いをしていきます。

今、三鷹の森学園CS委員会では…

新たに始まる学園サポーターの説明会がありました

1月26日、27日、30日に五小・高山小・三中の3校を会場として、地域・サポート部による小・中学校学習サポート事業/学園サポーターの説明会が行われました。

4月から始まるこのプロジェクトは、学校が必要とするサポートと、「何かお手伝いできれば」というお気持ちのある保護者や地域の方を、CS委員会があいだに入ってつないでいこうとするものです。

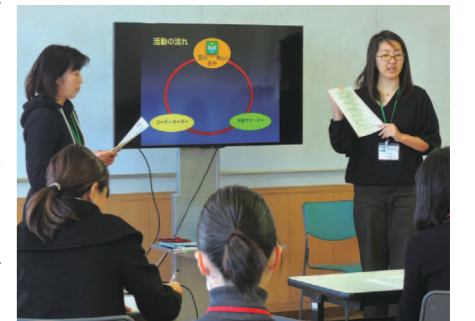
サポートには大きく①授業サポートと、②CS委員会が担っている活動のサポートがあり、特に①に関しては、先生方の手間を少しでも減らし、その分、授業や指導に専念してもらおう。そのことで子どもたちの学びを間接的に支えようという意図があります。

例として、これまでも実績のあるミシンの授業補助、校外学習の引率、学級文庫の選書、漢検・英検、花いっぱい運動、ソフトバレーボールといった活動とそのサポート内容が説明されました。

学園サポーターとして登録するとサポート依頼のお知らせメールが届くようになります。可能な時は返信し、メールでのやりとり

を経て、実際の活動実施となります。これまでの学校やPTAのお手伝いと違うのは、①学園全体で行うため学年や学校を超えた活動も可能、②学園を卒業しても活動できる、の2点。登録しても参加のノルマはありませんが、守秘義務はあり、活動を通して知れた個人情報、たとえ良かれと思ってでも口外はしないでください、という話もありました。

3日間で41人の参加者がありました。鈴山校長先生の挨拶のなかの「教員は100%頑張りますが、皆さんの力をプラスしていただいて、子どもたちが120%を受け取れるようにしたい。開かれた学校として皆さんと一緒に子どもたちを育てていきたい」という言葉が印象的でした。



地域は学びのキャンパスだ!

三鷹の森学園のエリアには、子どもたちのために活動し、まさにスクール・コミュニティを形成している団体が多数存在します。今号ではそんな団体の一部をご紹介します。
 学校の中はもちろん、学校の外にも、子どもたちの学びの場、居場所となる場はさまざまあります。たくさんの大人が子どもたちを見守り、成長を支えていることがわかります。

井の頭恩賜公園

三中には12の部活があり、子どもたちの学びの場、居場所として大きな役割を果たしています。学校の教育活動の一環ではありますが、部活単位で地域にボランティアに行ったり、地域の方が外部指導者として顧問の先生と一緒に指導に当たったりと、地域と連携した活動が行われています。

〈部活〉バスケットボール部、野球部、サッカー部、バレーボール部、バドミントン部、剣道部、陸上競技部、吹奏楽部、茶道部、美術・漫画創作研究部、読書ボランティア部、JRC部



〈外部指導者の方々〉左から、バスケ部の山本さん、剣道部の福井さん、読書ボランティア部の田所さん、サッカー部の賀部さん。

三中

学校図書館
(地域開放=土曜午前)

チーム三鷹の森 (ソフトバレーボール)



⇒P.4参照

牟礼コミュニティ・センター

・屋外プール ・図書室 ・自主グループ

常喜会、アップルパイ、みたかジュニア新体操、KBS
⇒P.4参照

●明星学園小・中

●明星学園高

●法政大学中高

●高山小 学童保育所

高山小

学校図書館
(地域開放=土曜午前)

・地域子どもクラブ

囲碁教室、おはなしかい、さくらクラブ、書道クラブ、新体操クラブ、パドルテニス、ハニー・キッズ、ケイキフラホアピリ、放課後あそび、高山バスターズ

・地域団体

親子パドル、親子deファイトエクササイズ、高山SC、カントルムみたか、高山剣道、高山ファイターズ、三鷹ジャガーズ

⇒P.4参照

ソニックス三鷹
三鷹五小サッカークラブ
鼓響
井の頭フェニックス
⇒P.4参照

●板橋農園
(五小小学校農園)

●五小

学校図書館
(地域開放=土曜午前)

●石井農園
(高山小学校農園)

●牟礼の里公園

●赤とんぼ児童遊園

●東部図書館

五小オヤジの会

発足から14年を迎え、参加オヤジ130名超えの規模で活動しています。「子どもたちの笑顔のために」を第一のモットーに、五小児童のためのイベントを企画・実施。まず「子どもが中心」、そして「オヤジは無理なくできる範囲で」、やはり「楽しく」を大切にしつつ、オヤジ交流会、防災キャンプ、五小まつり、6年生を送る会などを皆で運営しています。

五小子ども広場

三鷹市の地域子どもクラブ事業として、放課後・休日の子どもの居場所づくりのため、教室・校庭開放をしています。雨天時も行いますし、各学期に数回ずつ水鉄砲大会などのイベントも実施。開放時は校庭を「地域の公園」と考えており、五小児童以外も受け入れています。



地域子どもクラブ事業としてイベント型やクラブ型ではなく校庭開放型を選択したのは、毎日の子どもの居場所づくりを大切にしたいから。その結果、現在平均利用者数は延べ1200人/月にも上ります。

■井の頭 コミュニティ・センター

・図書室 ・多世代交流サロン

水曜日の午後、ロビー・集会室等を小中学生に開放しています。工作、将棋、オセロ、プリントのゲームをしたり、持ってきたゲームをやってもOK。シニアの方との将棋対局も。井の頭住協多世代交流委員会の事業という堅い名前がついていますが、そもそもは子どもたちの居場所づくりを趣旨の一つとして始めた活動。シニアの利用者も「地域孫」をかわいがってくれています。

高山小父親の会

「子どもたちの笑顔のために」をモットーに、「やれる人がやれるときにやれること」に取り組んでいます。防災キャンプ、ふるまいうどん、星空観望会など、高山小で子どもたちを対象に行うイベントのほかに、駅伝、餅つき奉行、バンド、利き酒など、スパインアウトグループの秘密裏活動も存在。

高山ふれあい広場

放課後や休日などに、高山小の空いている施設を使って活動している団体が、現在17あります。子どもたちの放課後の居場所づくりを目的とした三鷹市の地域子どもクラブ事業で活動する「地域子どもクラブ」は10団体。原則、高山小児童が対象ですが、学園の小中学生や学区内私学児童を受け入れる場合もあります。

地域住民が自分たちでつくる「地域団体」は7団体で、高山小児童以外も対象としています。

●東多世代交流センター(東児童館)

青少年対策 第五地区委員会

青少年の健全育成をめざし、地域のボランティア委員が安全安心マップの作成配布、ラジオ体操、五小まつり出店、五小卒業を祝う会「五小寄席」、三中卒業を祝うもちつき大会(高山地区と共催)などを行っています。

交通安全対策 第五地区委員会

地域の交通安全の推進のため、ボランティア委員が1年生歩行訓練・3年生自転車教室・明星学園小学校の歩行訓練の補助、五小地区交通安全マップ作成配布などを行っています。

青少年対策 高山地区委員会

青少年の健全育成をめざし、地域のボランティア委員が早朝歩く会、高山小卒業を祝う竹ぼうき作りの会、三中卒業を祝うもちつき大会(第五地区と共催)などを開催しています。

交通安全対策 高山地区委員会

地域の交通安全の推進のため、ボランティア委員(PTA地区委員、交通安全協会会員)が交通安全運動期間中の通学指導、自転車教室、新入生歩行練習などを行っています。